

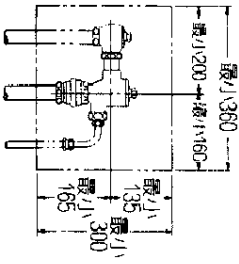
製品の機能が十分発揮されるように、この説明書の内容にそって正しく取付けてください。

使用条件

- 給水圧力
最低必要圧力……0.07MPa
注：フローアラート便器（C454PV、C840PV）又は壁掛サイホン便器（C450）とセットする場合の最低必要圧力は、0.1MPaです。
最高圧力………0.7MPa
- 給水管接続部までの給水引込管やメーカー等のサイヌは、25A以上にしてください。

取付上の注意

- 取付前に必ず、給水管内のごみ・砂等を完全に洗い流してください。
- フラッシュバルブ本体は垂直（カバークラップ）になるように取付けてください。また、本体を壁内等に設置する場合は、保守点検のために点検口を必ず設けてください。
- 点検口の最小寸法は上図のとおりです。
- 足路弁（又は押ボタン弁）の接続は、φ9.5mmの銅管で給水口をまちがえないよう本体の矢印に注意して行ってください。
- 足路弁（又は押ボタン弁）を埋込む際は、床（又は壁）の仕上面に注意してください。
- 足路弁配管の際は、給水と直角方向の排水口に水枝配管を接続してください。



- 押ボタン弁の場合は、1層の樹脂製短管をフラッシュ口にはめて埋込作業をし、壁面の仕上げが終了した後短管を除いてフラッシュをセットしてください。

水勢及び吐水量の調節

- 水勢の調節
水圧の高低によって水勢が変わります。水勢が強すぎると、水飛びを生じたり洗浄音が高くなったりします。また、水勢が弱すぎると十分な洗浄ができませんので、開閉ねじで水勢の調節を行ってください。

- 吐水量の調節
吐水量の調節をするときは水量調節ねじで行ってください。
右回転……吐水量が減少します。
左回転……吐水量が増加します。

ストレーナ及び小穴の掃除

- 水が止まらなかつたり吐水量の調節ができない場合は、次の要領でストレーナ及び小穴の掃除をしてください。また、押棒部のストレーナを取出し、ごみが詰まると作動が不確実になります。
- ストレーナはブラシ等で掃除し、十分水洗いしてください。
 - 小穴は細い針金で掃除してください。
(荷札の針金など)
- 注：ピストンバルブを収めるときは、弁座面に乗り上げないように注意してください。

